「3・11フクシマ」の地から原発のない社会を!
——原発公害反対闘争の最前線から

第2回「原発と人権」全国研究交流集会「脱原発分科会」実行委員会 編著

脱原発訴訟と原発被害賠償訴訟の連帯と
原発公害反対の国民共同の闘いの持続的発展を!

A5判ブックレット 148頁
定価：本体1200円+税

目次より

序「脱原発へ、司法の道」 淡路剛久
発刊にあたってのことばにかえて——「開会あいさつ」 小野寺利孝
第一部 脱原発をめぐる情勢と闘いの展望を考える
一 基調報告・問題提起「3・フクシマ」の教訓と脱原発をめぐる現状と課題 斎藤貴男
二 脱原発国民運動の最前線からの報告と問題提起
1「首都圏反原発連合」の活動から 服部至道
2「原発問題住民運動全国連絡センター」の活動から 伊東達也
3「南相馬市長」としての活動から 桜井勝延
4「福島県内のすべての原発の廃炉を求める会」の活動から 佐藤三男
第二部 脱原発訴訟の意義と展望を考える
一 基調報告——「脱原発訴訟の意義と闘いの現状・展望」 河合弘之
二 脱原発訴訟原告団活動報告と問題提起
1 泊原発の廃炉をめざす訴訟団を代表して 小野有五
2 東海第二原発訴訟原告団を代表して 大石光伸
3 玄海原発訴訟原告団を代表して 蔦川正義
三 福島原発公害被害者訴訟の意義と脱原発の闘い 早川篤雄
1 立証責任が住民側にあることをどうやって転換するか 神戸秀彦
2 石巻の地から女川原発反対運動 庄司捷彦
3 裁判に勝つために 板井 優
4 原告団と弁護団が助け合うために 武田徹
5 災害対策が実効性のないものと明らかに 山口修
第三部 特別寄稿
一 大飯原発3、4号機差し止め裁判勝訴判決の活動報告 松田 正

※ご注文は、下記 広田次男法律事務所宛にお願い致します。

FAX：0246-24-2342　電話：0246-24-2340（代）

広田次男法律事務所
〒970−8026 福島県いわき市平字八幡小路66-9

発行 花伝社
〒101-0065　東京都千代田区西神田2-5-11 出版輸送ビル2F
電話：03-3234-6948　FAX：03-3239-8272
E-mail：master@kyoeishobo.net　http://kyoeishobo.net

9月1日発売予定

冊

「3・11フクシマ」の地から原発のない社会を!

お名前	ご住所	
	〒	
お電話		